

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡城西学園 チロル I		
○保護者評価実施期間	令和8年3月3日(火)		～ 令和8年3月19日(木)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和8年3月3日(火)		～ 令和8年3月19日(木)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日(火)		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢に応じた支援内容や放課後等デイサービスを卒業後を見据えた支援内容	支援内容に放課後等デイサービスを卒業後に必要な社会性(社会人としての身だしなみやマナー、コミュニケーションの取り方など)を身に着けられるようなプログラムを取り入れたり、就労体験や就労移行支援などによる出前講座を実施したりして自立に向けての支援を行っている	就労系の福祉サービスへの実習を実施したりすることで、社会性の向上や自立へ向けての意識の向上を行っていききたい
2	利用者の特性の理解や適切な対応	学校や関係機関、医療(訪問看護等)との連携を図りながら、利用者の特性の理解や適切な対応の共有を行っている。 また、利用者の特性に対応した学習のサポートに取り組んでいる。	支援者側が利用者の特性を理解するための情報共有の充実だけでなく、利用者自身が自分の特性への理解を深めて対応策を身に着けられるような支援方法の充実に取り組んでいきたい
3	相談等への迅速な対応	連絡帳やライン等を活用し相談しやすい環境の提供を行い、些細なことでも丁寧に迅速に対応するよう意識している 必要に応じて関係機関の紹介などを行っている	SNSなどの活用をさらに充実させ、保護者などへの細やかな情報共有や保護者や利用者が発信しやすい環境の整備に取り組んでいきたい

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラム内容や活動(特に保護者へのペアレントトレーニング)の充実	利用者に対するプログラム内容の充実はだいぶ整備されてきているが、保護者が日常生活での多忙なため、ペアレントトレーニングの日程の調整が難しいことやその必要性に対する認識の違いで参加への促しが上手くできなかった	今年度に引き続き、更なるプログラムの充実を行い、利用者本人へその必要性を認識できるように安定した利用を促していく 保護者のニーズを元に情報の提供を発信することで保護者への認識を高めていく促しや、日程の調整がしやすいように早めの発信を行っていく
2	マニュアルの周知徹底	ホームページへの掲載はしているものの、ホームページのアナウンスが上手くできていない	契約時に丁寧な説明を行ったり、アナウンスの徹底を行っていく
3	地域との連携	地域への挨拶やチロルでの取り組みへの理解を深めるアナウンスを少しずつ取り組んではいるものの、地域への周知が思うように広がらない	地域の方を招待するイベントを行ったり、地域活動への取り組みにチロルでできる事がないかを検討し、ボランティアを含め地域との活動を実現していきたい